

※以下の内容を記入し、**走行日から5日以内**に、メールにて事務局(challenge@rt-tsukuba.jp)までお送り下さい。
この情報は、つくばチャレンジ 2017 ホームページで共有します。

つくばチャレンジ 走行実験の内容および結果レポート

つくばチャレンジ 2017 本走行 2017/ 11/ 5(日)

ロボット No.: 1705

ロボット名: PeGASuS

チーム名: 横浜国立大学

記載責任者: 松野 俊文

[1] 本走行前後の実験走行について

1 実験の目的

プログラムの動作チェック

2 実験の具体的内容と成果

2.1 実験の具体的内容

公園内において自律移動プログラムの実行

2.2 実験成果

プログラミングの起動は確認。

ただし電装周りのメカトラブルにより移動できず。

[2] 本走行について

1 設定した目標

確認走行区間の突破

2 本走行の結果

スタート後 15m 付近から芝生に立ち入り、

17m 地点において経路から大きく離れるように経路計画がなされたため緊急停止スイッチを押した。

3 どこまで目的が達成されたか

道なり走行、分岐検出、自己位置推定ともに失敗

4 失敗した場合は、その理由として考えられること

- ・スタート地点付近において自己位置推定が不安定であった
- ・道なり方向を正しく判断できていなかった

[3] 運営側、実行委員へのコメントや質問等があればお書き下さい。